

岡山県合唱連盟機関誌 トゥッティ 第49号

発行責任者：岡山県合唱連盟事務局長 山田 威夫
事務局：岡山市津島桑の木町2-2-H404

Tel：086-214-6523 Fax：086-214-6559
〔電話受付は原則土曜10:00～16:00です〕
E-mail：yahmada@oka.urban.ne.jp

<http://www.urban.ne.jp/home/yahmada/jcaokayama/index.htm>

Tutti

近藤理事長が辞意

片山副理事長も勇退の意向

12月10日(月)に朝日新聞社岡山支局にて開催された理事会において、近藤理事長が辞意を表明されました。

来年度は役員改選の年にあたり改選の臨時総会を前に6期12年務めた理事長の座を退くことを表明されたものです。理事会としては、円滑に新体制に移行するために、臨時総会に後任として上月副理事長を推薦する旨決定し同氏も了解されました。

近藤理事長談話

副理事長の時代から30数年。その間歴代丸池、田中、片山、上月の副理事長、井口、下垣、内田、山田の事務局長はじめ理事のみなさんの力強いご支援に心から感謝しています。

2度の全日本合唱コンクール全国大会をはじめ、おかあさんカンタート、おかあさんコーラス全国大会など全国的な行事を岡山に誘致し、成功させたことは大きな自負です。いま心は誠に向れやかです。

私自身身体はさわめて良好であります。水は流れていくものであり、この期に後輩に迷宮を託したい。

2、3年前から考えていましたが、21世紀の始まりを期に新しい体制でいくことが必要と考え、今期限りで理事長を辞退させていただきたいと思っております。



私個人、合唱は好きであり今後とも側面より連盟をバックアップしていきたいと思っております。どうか新しい体制を速やかに構築していただきたいとお願いたします。

片山副理事長談話

私も長い間、副理事長の席

華やかに県芸術祭開会

連合合唱団でオーブニングコトラス

「21世紀交流と創造のスタート」をテーマに、第38回岡山県芸術祭の

(平成13年度)

岡山県芸術祭の総開会式が華やかに開催されました。芸術祭の長い歴史の中でも開会式を行うのは初めてのことで、開会式の中では、石井正弘岡山県知事が岡山フィルハーモニック管弦楽団の指揮をふって会場をわかせたほか、県下の様々な文化団体連盟が芸術祭の華やかなオーブニングを

影りました。岡山県合唱連盟も加盟団体のみなさまに広く参加を呼びかけて編成した130名の連合合唱団で式典に臨みました。合唱連盟としては、創立50周年記念合唱フェスティバル以来の合同演奏となります。練習回数は2回と少なめでしたが、上月副理事長が「大地讃頌」を、ヨール・ゆうぞんげんの高野理事が「ハレルヤ」の練習指揮を担当し、近藤理事長の指揮のもと、「大地讃頌」と「ハレルヤ」コーラスが岡山市民会館大ホールに高らかに響きわたりました。式典では、このほか岡山県少年少女合唱連盟も140名が参加して、「夢の世界」など4曲を演奏しました。

に座らせていただいておりますのでこの機に引かせていただきますと思います。副理事長を20数年努めてまいりました。私も川の流れをスムーズにしていきたいと思っております。大変お世話になりました。ありがとうございました。

第五十五回全日本合唱コンクール全国大会に出場して

コール・ゆうぶんげん 高野 敦

コンクールというのは実に非情なもので、自分たちの力を出し切ることができたと満足している演奏者を、次の瞬間、失意のどん底に突き落とってしまうことがある。審査結果の発表の、その瞬間……。

十一月二十三日、福島県郡山市民文化センターにおいておこなわれた全日本合唱コンクール全国大会に、コール・ゆうぶんげんは、岡山県、中国支部代表として二年ぶり四回目の出場をすることができた。

しかし、この一年間、ゆうぶんげんは、実に苦しかった。前年、広島で行われた中国大会、「全国会賞」を目指して自由曲にシェーンベルクの難曲を採んだゆうぶんげんは、それまで経験したことのない「十二音」の世界に苦しみながら、なんとか全日本理事長賞で県大会を通過したものの、この中国大会では、僅か一票差で、四年連続の「全国大会」を得ることができなかったのだ。練習時間の不足から、課題曲の演奏が今一つだったこともある。また代表枠が例年より一つ少なかったこともあった。しかし、どんなに輝出を挙げて、全国入会を逃したことは結果として堪える事実である。コンクールを活動の中心としているゆうぶんげんにとって、「結果」を出せなかったことは、同員にとって大きな失望である。まして、それまで幸運にもコンクールでの成績を向上させることができたゆうぶんげんにとって、初めての「下巻」である。「シェーンベルクは、無謀な選曲だったのではないか……」「A部門の人

数で長期間にわたって面を運営させていくこと自体、無理があるのではないか……。様々な総括が行われた。「岩多くして実のない」結果に意欲を失っていった人、転動で岡山から遠くなってしまった人など、活動から離れていく仲間も相次いだ。そういう意味では、今年のコンクールは、ある意味、ゆうぶんげんにとって、「背水の陣」であった。

だから、今年、二年ぶりに全国大会に「復帰」できたことは、私たちにとって、本当に大きな「力」だった。もちろん、コンクールで勝つことが大切なのではない。本当に大事なのは「より良い音楽を作ろうとする気持ち」である。しかし、コンクールで挑戦していくなかで、自分たちの力を向上させていく力を得ていた私たちは、今年、様々な逆境に打ち勝つ「結果」を出すことができたのだ。

コンクールというのは非情なもので、満足している演奏者を、一瞬で失意に変えてしまうことがある。しかし、再び「がんばろう」という気力がある限り、コンクールは合唱団としての力を高めてくれる場でもある。ゆうぶんげんは、これからも、コンクールでがんばっていきこうと出ている。今回も逃してしまった「全国会賞」という美なる目標に向かって。

中国大会、全国大会に向けて応援してくださいました多くの方に心から感謝しています。ありがとうございます。

理事会レポート

11月30日(金)午後6時30分より、岡山市立京山公民館にて理事会が開催されました。

♪中国合唱コンクールを終えて 大会事務局長 内田 毅
去る9月22日、23日の両日、名古屋市公会館で開催された「第40回中国合唱コンクール」はおかげでさまで無事に終了することができました。連盟加盟の各団には補助員、広告、チケット販売と次々とご無様をお願いしましたが、それぞれに快くご協力をいただき誠にありがとうございました。前理事の鈴木さん、鎌田さん、山下さんにも快くご協力いただきたいと思います。およびお礼申し上げます。

補助員は23団体から集って200人余りにご協力いただきたいに助かりました。広告・印刷料は16団体に20万円分を貸付していただきました。チケットの販売については53団体に130万円余りのご協力をいただきました。そのうち事務局からお送りした枚数すべてにご協力いただいたのは33団体、750枚、110万円余りでありました。

この結果、予想を上回る余剰金が出ることになりましたので、理事会に諮って一部を還元することになりました。チケット販売にご協力いただいた団体のうち、ノルマを達成していただいた団体のみ半額を還元することにします。4月の定例総会でお知らせいたします。

さて、会計面での順調さとは裏腹に運営面では多岐に亘るご苦労が窺われましたが、皆様にもうまい刀パーしていただき本当に全らなかつたという状況でした。諸君、説明会で頭を下げていただいた方々、説明不足から走り回らせてしまった方々にもよりお詫言申し上げます。全ては私の詰めの甘さと自覚し、人々に反省しております。

ところで中程に書き置きました協力団体数等、どう思われますか。補助員は地理的な問題もありますので全団体は無理と察いまい。しかし広告・チケット販売についてはどうでしょう。皆さんのご意見をうかがえる機会があればと思っています。

♪第9回岡山県が「加予」のM行外要項決定

アンコンの開催要項を協議しました。昨年度と大きく変わった点は、入場料を廃止し、参加料にて入会を運営すること。競争率の高い例年の大会は入会者が伸び悩んでおり、参加団体以外での入場券販売赤字に対し、著作権使用料支出で赤字になるため、入場無料にして、著作権使用料をゼロにします。

♪来年度合唱講習会内容決定

☆☆前期合唱講習会 講師：大志方明子先生

5月18日(土) 指導者講習会 岡山サッポロホール

19日(日) 発声講習会 岡山サッポロホール

大志方先生より発声講習会の前日に指揮者、パートリーダー等指導にあたる方を対象にした講習会を開きたいとのご希望のお申し出に、是非とお願いしております。口煩くしている疑問や悩み事などがあればこの機会をご利用ください。

☆☆後期合唱講習会 講師：新矢剛英先生

12月1日(日) 岡山サッポロホール

後期講習会を改め、作曲家を招いての講習会を開催します。午前中は、各合唱団単位で希望の新楽作品の指導・講習、午後からは参加者全員で新楽作品を多く予定します。

♪臨時総会の招集

平成14年は全日本合唱連盟の役員改選の年にあたり、当連盟でも理事等役員交代の年にあたり、全日本の日程にあわせて、1月20日(日)に役員改選のための臨時総会を行う旨決定されました。

天 高く馬肥ゆる秋……いえいえ、芸術の秋といいますが、2001年の秋、岡山県合唱連盟加盟団体では、各地で意欲的な演奏会が多かったようです。そのレポートをご覧ください！合唱ファンが増えるといいですね。

岡山市民合唱団 鷺羽

合唱オペラ「ごんぎつね」の初演を終えて

上月 明

岡山市民合唱団鷺羽は30周年の記念演奏会で合唱オペラ「ごんぎつね」を委嘱し、去る11月11日(日)、池辺晋一郎先生(作曲)と村田さち子先生(脚本)をお迎えして、岡山シンフォニーホールで無事初演を終えることが出来ました。

委嘱作品として委嘱出す以上、日本全国を広く親しまれ、演奏されるような作品になればよいなと考え、新美南吉の童話「ごんぎつね」を選びました。この作品は小学校4年生の国語教科書として、40年以上も前から取り上げられ、現在も各社の教科書(4年国語)に文学教材として掲載されています。これだけ長い間支持され続けているのはきっとわけがあるのだろうと考えました。「ごんぎつね」は切なく悲しい物語です。原作ではごんの兵十郎が兵十に気持ちの通じないまま悲劇の結末を迎えますが、今回の合唱オペラでは、悲劇の結末で終わるのではなく、ごんと兵十のかわり合いをとおして、普遍的な「愛」が込められています。私たちはそぞろとした思いを出来るだけ伝えたいと願い、練習に取り組んできました。

演奏会の夜は、例年に比べ子どもの数がずいぶん多かったように思います。「小学校2年生の子どもが2時間集中して聴くことが出来ました。」という声も届きました。色彩感の豊かな演出に支えられ、満足していただけた演奏になったのではないかと思います。私たちはこの作品が、全国で演奏されることを楽しみにしています。

津山女声コーラス

25周年記念演奏会を終えて

代表 山下 恒子

私達、津山女声コーラス水曜会は、結成25周年記念演奏会を11月17日(土)の夜、ベルフォーレ津山で開催いたしました。600人収容のホールに当日果たしてどの程度のお客様が来て下さるだろうかと心配しておりましたが、400人くらいの入りで一安心しました。毎週土曜日の午後を定例の練習日としていますが、最後の1ヶ月間は練習回数もふやし、団員の目の色が変わる位一生懸命練習しました。(何が大変かといったら暗指することです)

唱歌メドレー「ふるさと四季」では、手話と入れたり、手作りのお話をたいたり、おみこしを繰出したりと演出に工夫をこらしました。最後の全員合唱では団員も会場において「赤とんぼ」を歌いました。お客様から「舞台と会場が一体となっていてとても楽し

岡山混声合唱団 & 倉敷市民合唱団

岡混・倉敷市民 初合同演奏

11月末 岡混一団員記

11月25日(日)岡山シンフォニーホールで岡山混声合唱団創立55周年・倉敷市民合唱団創立42周年・記念合同演奏会が開かれた。

岡山県芸術祭決定事業として助成を頂く等各方面のご支援を得て、無事に全演奏を終了できたことを、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

第1部は岡山混声の55年に及ぶ演奏曲の中から、初代指揮者で岡山県合唱連盟の初代理事長でもあった故糸賀英富先生を偲んで、「美しく暮きドナウ」「落葉松」等5曲を係かしい思い出に浸りながら、棚田国雄先生の指揮で楽しく歌うことが出来た。

第2部は、G・ブッチェーニ作曲の「ミサ・ディ・グロリア」を、岡混と倉敷市民合唱団の初めての合同で、岡山フィルハーモニック管弦楽団のオーケストラ伴奏と松本敏雄・伊藤正紀両氏のソロも加わって、片山康雄先生の指揮で神の栄光を“劇的”に歌い上げることが出来たと思います。

演奏の技術的完成度ほどもかく、木系に強いわが団の伝統としては、日頃の練習以上の出来ではなかったかと手前味噌の精進をして、このせち辛い年の瀬を次の「第九」と「クリスマス・イブ」の曲イベントで元気づけようと、新たな意欲を燃やしている昨今です。



いコンサートだったよ」とおっしゃっていただき大変嬉しく思っています。また、帰られる時のお客様の温かい笑顔が印象に残っています。今振り返ってみると、よくまあ25年も続けてきたものだと思ひ深いものがあります。とに角、歌の大好きな仲間たちですので、これからも楽しく歌い続けていきたいと思っております。



INFORMATION INFORMATION

1/20 (日) 臨時総会
2/10 (日) 第9回岡山県合唱コンクール

くらしき作陽大学・作陽短期大学
作陽混声合同第1回演奏会
日 時：1月27日 (日)
開場：17:30 開演：18:00
会 場：倉敷市芸文館
曲 目：1st. 愛唱歌集 「Sicut cervus」
「はじめに……」他、初演曲有り
2st. 世界名作劇場
アニメソングメドレー
3st. 混声3部合唱とピアノのための
組曲「クレーの絵本 第1集」
入場料：前売券500円 当日券700円
問合せ：090-1334-0124 (因幡)
創団2年日にして初めての演奏会を開催することとなりました。記念すべき第1回目として、芸文館という大きなホールを借りての演奏会です。まだまだ成長途中の合唱団ですが、是非足を運んで下さい。

ノートルダム清心女子大学グリークラブ
第38回定期演奏会
日 時：1月12日 (土)
開場：18:00 開演：18:30
会 場：ノートルダム清心女子大学 講堂
曲 目：I The St George Missa Brevis
作曲：Nanny Telfer
II THE SOUND OF MUSIC
作詩：Oscar Hammerstein II
作曲：Richard Rodgers
III 50期生によるアンサンブル
IV 大阪ことばあそびうた
作詩：尾田 陽子
作曲：玉木 宏樹
入場料：無 料
問合せ：090-1359-6132(藤井)

□事務局よりのお知らせ

平成14年度事業に予定している会場を次のとおりお知らせします。

5月18日(土)春期合唱講習会 (指導者講習)	岡山シンフォニーホール
5月19日(日)春期合唱講習会 (発声講習)	岡山シンフォニーホール
6月2日(日)第55回岡山県合唱フェスティバル	岡山シンフォニーホール
6月30日(日)第25回朝霧あまのこ合唱コンクール	岡山市立市民文化ホール
8月11日(日)第55回岡山県合唱コンクール	岡山市立市民文化ホール
12月2日(日)冬期合唱講習会 (新実先生を迎えて)	岡山シンフォニーホール

お忘れ物のご案内

平成13年度中に行われた行事でのお忘れ物をお預かりしております。ホームページに写真を掲載しておりますので、心当たりの方はご連絡下さい。3月中には処分させていただきます。

ハーモニー個人購読のお知らせ

連盟には加盟していないんだけど、「ハーモニー」は読んでみたい。春号から冬号まで、年間4冊をあなたの自宅にお届けします。

下記の口座に御住所、御名前、所属合唱団(ある場合)を明記し、料金 3,360円(送料込)でお振込ください。

■ 郵便振替口座01320-3-45758岡山県合唱連盟

※ 加盟合唱団所属の方の個人購読は、その団体の日標冊数の達成算定に繰り入れます。

次号の発行は、3月末頃の子定です。演奏会情報掲載を希望される団体は、次により2月末日までにお知らせ下さい。演奏会名、日時、会場、料金、問合せ先など

〒700-0084岡山市津島桑の木町2-2-R404山田方
岡山県合唱連盟事務局

E-mail:yahmada@oka.urban.ne.jp

FAX.086-214-6559